

由布市水道ビジョン

～豊かな水環境を未来へつなぐ

ゆふの水道～

ダイジェスト版



由布市では、50年、100年先を見据えたうえで、今後の由布市水道事業が目指すべき方向性を示す羅針盤として、新たに由布市水道ビジョンを策定しました。

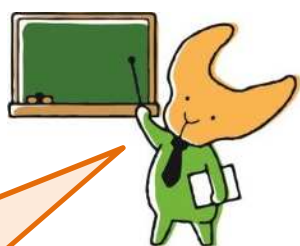
本ビジョンは、水道事業を取り巻く環境の変革期の中で、新水道ビジョンの基本方針である「安全」、「強靱」、「持続」を具現化するため、今後、取り組むべき事項、方策を提示するものです。

本ビジョンにおいて示す具体的な目標や実現方策の計画期間は、2019年度～2028年度までの10年間として策定しました。

～由布市水道ビジョンは、今後 10 年間の事業経営の指針です～



水道ビジョンって？

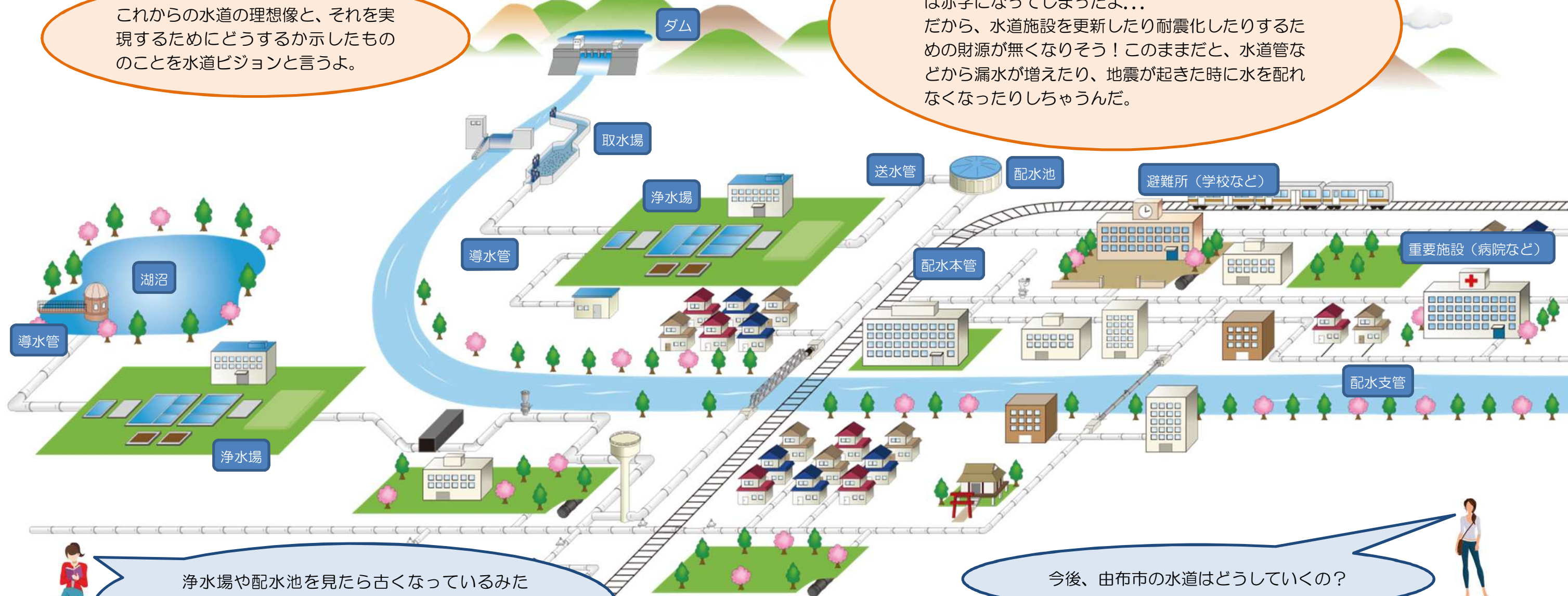


これからの水道の理想像と、それを実現するためにどうするか示したものを水道ビジョンと言うよ。



今のままだと水道事業は将来どうなるの？

最近、由布市の人口は減ってきているんだ。そうすると料金収入も減ってしまうから、ここ数年の経営は赤字になってしまったよ...
だから、水道施設を更新したり耐震化したりするための財源が無くなりそう！このままだと、水道管などから漏水が増えたり、地震が起きた時に水を配れなくなったりしちゃうんだ。



浄水場や配水池を見たら古くなっているみたい。地面に埋まっている水道管も古くなっているみたいだし、地震が起きた時も心配...

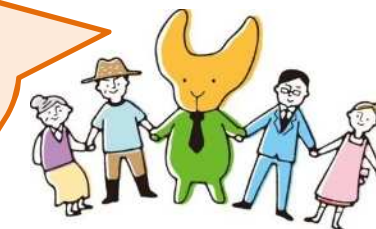


今は約 7 割が健全な施設だけど、10 年後には約 5 割、20 年後には約 3 割まで減っていくよ。
それと、水道施設の耐震性は、全国と比べると低いんだ。今後は、古い施設の更新や耐震化をしていくよ。



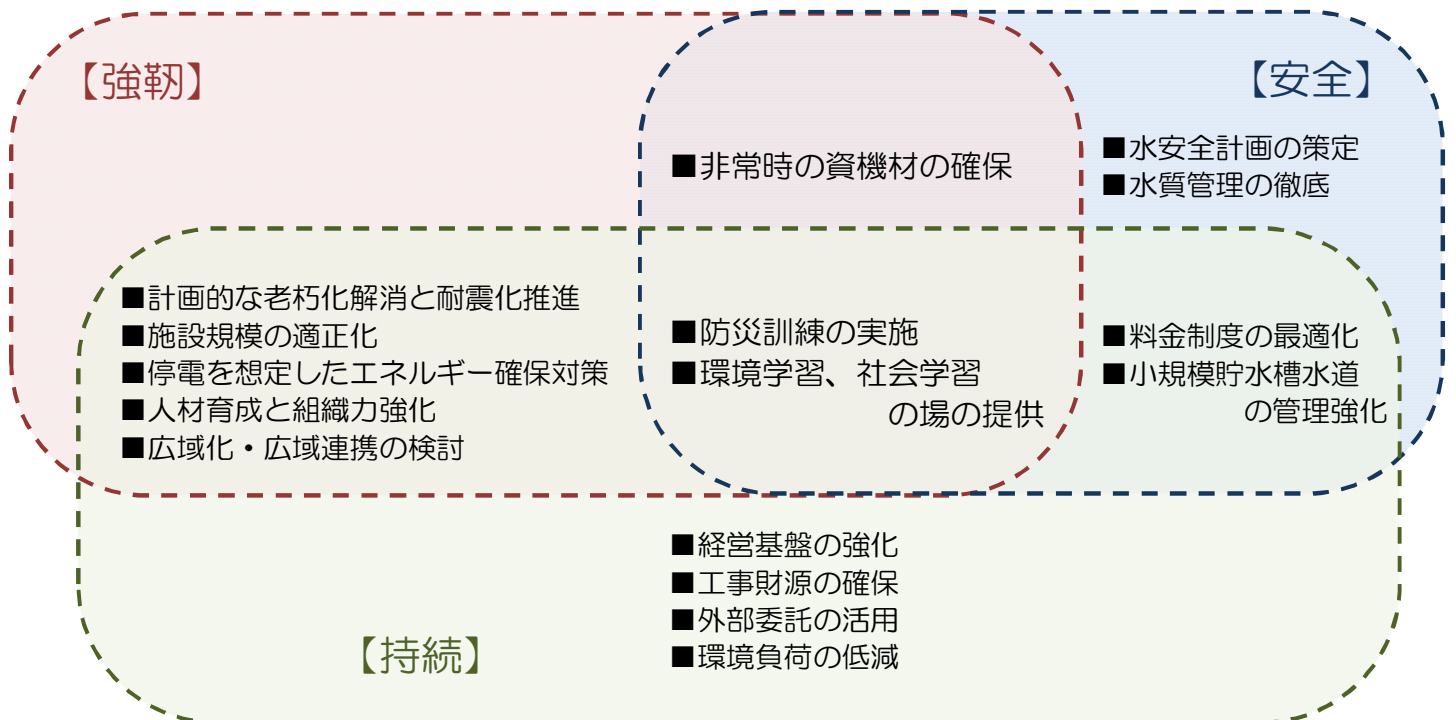
今後、由布市の水道はどうしていくの？

これから、由布市の水道は「豊かな水環境を未来へつなぐ ゆふの水道」という基本理念を実現して、市民のみんなが安全な水を、いつでも、いつまでも使えるように、水質管理を徹底したり、耐震化を進めたり、組織力を強化したりと、様々なことに取り組んでいくよ。



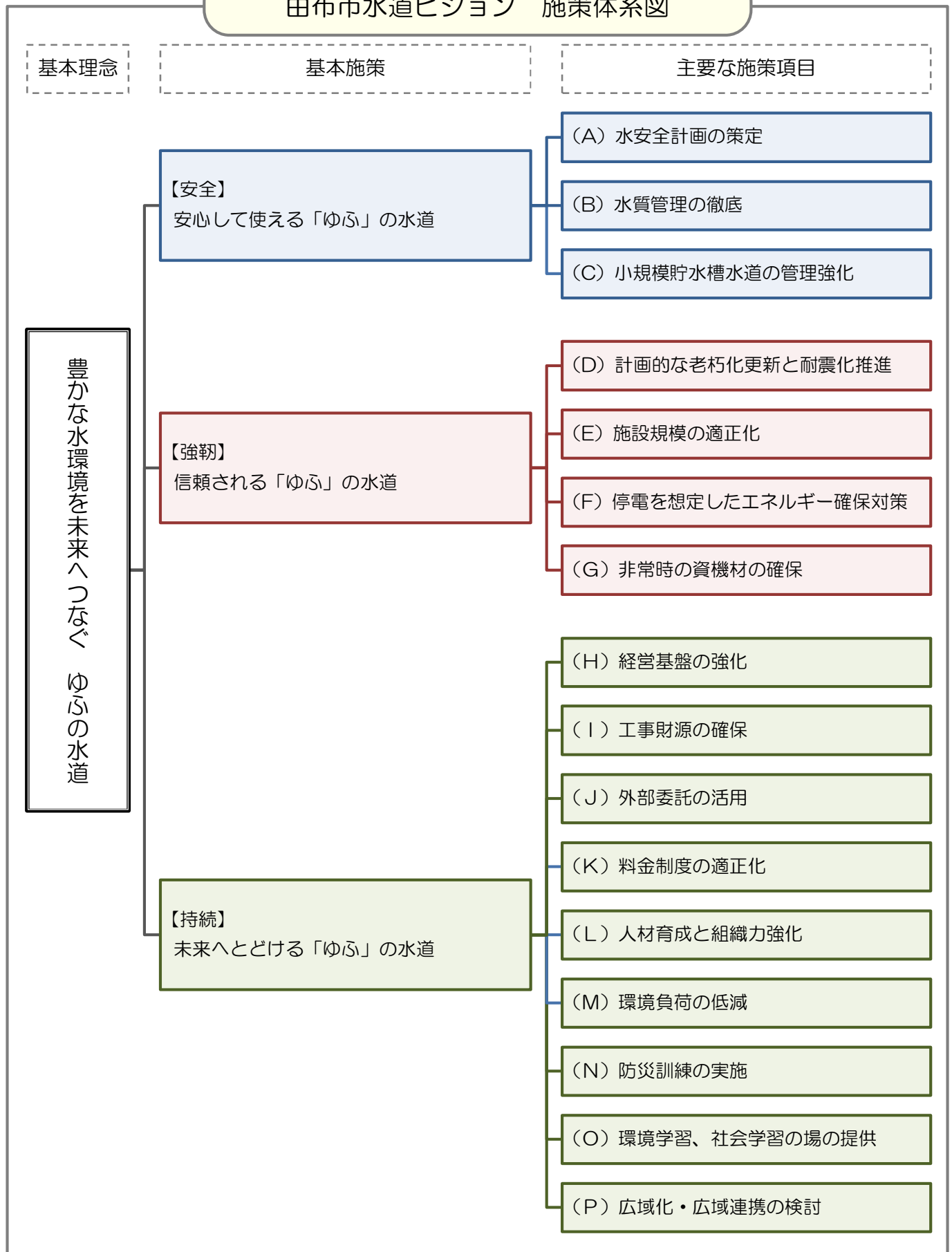
水道事業が抱える課題

視 点	課 題
水 量	特になし
水 質	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水安全計画の策定 ✓ 水質管理の徹底
施 設	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画的な老朽化解消と耐震化推進 ✓ 施設規模の適正化 ✓ 停電を想定したエネルギー確保対策 ✓ 環境負荷の低減
財 政	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営基盤の強化 ✓ 工事財源の確保 ✓ 料金制度の最適化
人 員	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材育成と組織力強化 ✓ 外部委託の活用
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小規模貯水槽水道の管理強化 ✓ 非常時の資機材の拡充 ✓ 防災訓練の実施 ✓ 広域化・広域連携の検討 ✓ 環境学習、社会学習の場の提供



基本理念と基本方針、今後の施策

由布市水道ビジョン 施策体系図



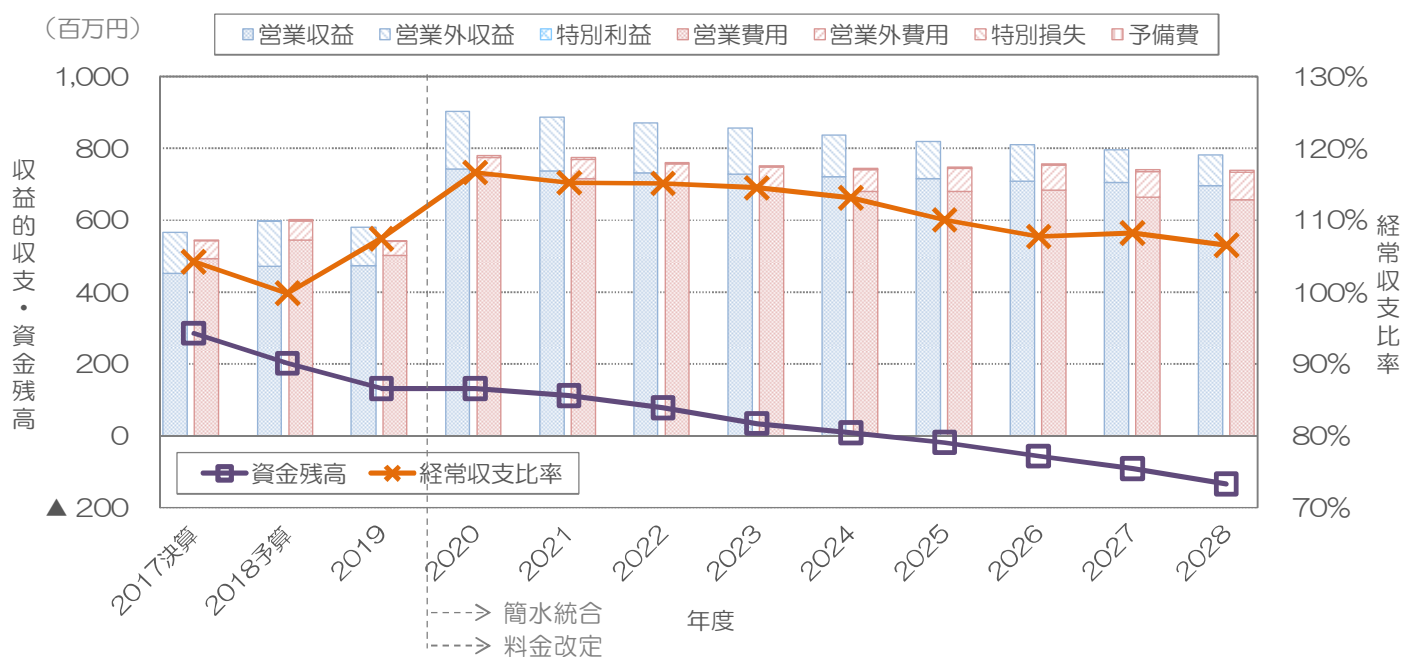
財政の見通し

年間投資額を約3億円に抑制したうえで、水道料金を供給単価ベースで25%値上げすることにより、今後10年間は収益性を確保することが可能となります。しかし、水道料金の改定後、5年目（2025年度）以降は、資金残高が不足する見通しです。

年間投資額は必要最小限に抑制しています。これ以上の抑制は、水道施設の健全性を損ない、安心して安全な水の安定供給に支障をきたします。そのため、2025年度には財政状況を見極めたうえで、再度、水道料金を見直す必要があります。

単位：千円

	2017決算	2018予算	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
水道事業収益（税抜）	566,215	597,828	580,846	903,492	886,970	870,883	855,951	837,615	818,857	810,063	796,622	781,413
営業収益	451,909	471,463	472,856	742,902	737,350	732,032	727,797	721,229	715,500	707,937	704,482	696,411
営業外収益	114,306	126,362	107,990	160,590	149,620	138,851	128,153	116,385	103,357	102,126	92,139	85,002
水道事業費用（税抜）	544,183	602,150	543,758	779,675	774,132	761,056	751,799	745,044	748,747	756,777	740,775	738,508
営業費用	492,378	545,607	503,251	722,320	715,568	700,984	690,062	680,509	680,399	684,186	663,861	657,267
営業外費用	51,109	53,539	37,507	52,855	54,064	55,572	57,237	60,035	63,848	68,091	72,414	76,741
予備費	0	3,000	3,000	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
営業収支	▲40,469	▲74,144	▲30,395	20,582	21,782	31,048	37,735	40,720	35,101	23,751	40,621	39,144
経常収支	22,728	▲1,321	40,088	128,317	117,338	114,327	108,652	97,071	74,610	57,786	60,347	47,405
総収支	22,032	▲4,322	37,088	123,817	112,838	109,827	104,152	92,571	70,110	53,286	55,847	42,905
資本の収入（税込）	140,706	128,280	178,770	303,848	310,342	313,225	318,229	318,080	314,159	315,869	311,836	310,274
内、企業債	88,900	76,600	152,800	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
内、他会計補助金	42,668	47,161	24,597	62,475	68,969	71,852	76,856	76,707	72,786	74,496	70,463	68,901
資本の支出（税込）	346,390	354,023	454,606	635,666	641,500	650,449	644,943	608,503	588,673	585,396	573,996	569,624
内、建設改良費	155,902	158,844	264,555	363,448	363,451	363,454	363,457	363,460	363,463	363,466	363,469	363,472
内、企業債償還金	190,488	195,178	190,050	272,217	278,048	286,994	281,485	245,042	225,209	221,929	210,526	206,151
資本の収支不足額	▲205,684	▲225,743	▲275,836	▲331,818	▲331,158	▲337,224	▲326,714	▲290,423	▲274,514	▲269,527	▲262,160	▲259,350
補填財源												
資本の収支調整額	0	0	13,399	18,735	18,907	19,171	19,009	17,935	17,350	17,254	16,918	16,789
損益剰余留保資金	196,818	215,309	262,437	313,083	312,251	318,053	307,705	272,488	257,164	252,273	245,242	242,561
小計	205,684	225,743	275,836	331,818	331,158	337,224	326,714	290,423	274,514	269,527	262,160	259,350
資金残高	284,629	200,655	131,087	130,689	111,183	76,547	33,519	7,879	▲19,603	▲57,441	▲92,055	▲134,750



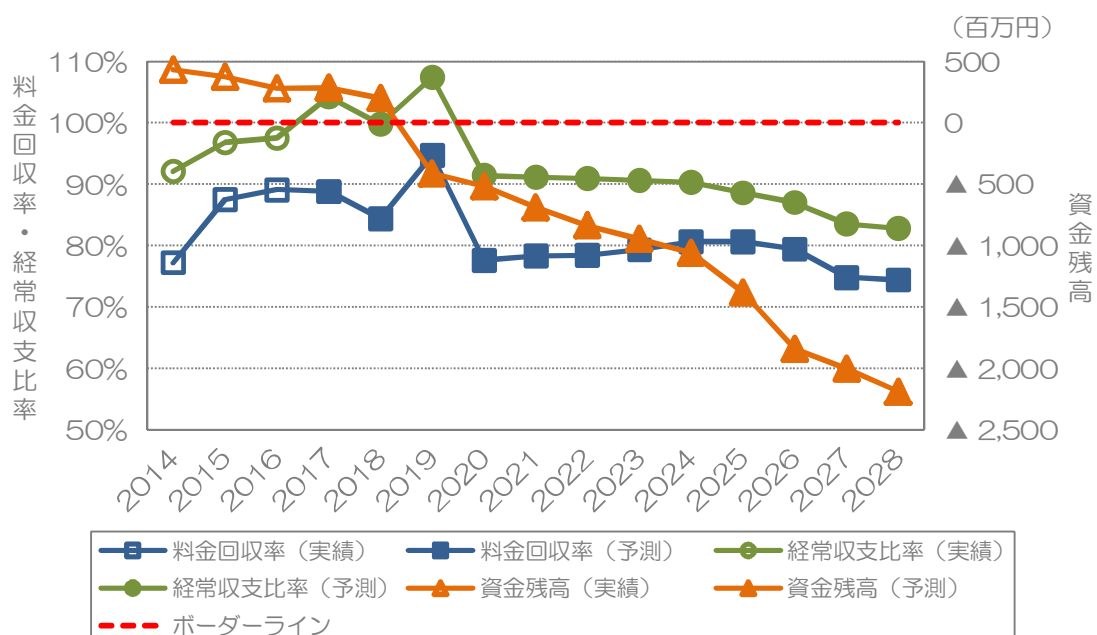
経営戦略の取り組み

増 収 入 を	水道料金の改定	○	水道料金を改定（値上げ）することにより給水収益が増収となるため、収支ギャップを解消できます。
支 出 を 減 ら す	広域化	△	挾間浄水場の維持管理にかかる手間や費用の削減を図るため、大分市との広域化（浄水受水）を検討する必要があります。
	民間活力の導入	△ (今後)	<p>本市の大規模な浄水場である挾間浄水場や小ヶ倉浄水場、影戸浄水場は、本計画期間内はまだ耐用年数期間内です。</p> <p>ただし、1970年代に建設された浄水場であることから、本計画期間以降に更新時期を迎えます。</p> <p>これらの浄水場を更新する際には、膨大な更新費用が必要になることから、PPP/PFIによる民間活力の導入を検討する必要があります。</p> <p>民間活力の導入により、民間企業の資金やノウハウに期待できるほか、交付金や交付税措置もあり、財政面で効果があります。</p> <p>特に、挾間浄水場は、大分市との広域化も含めて、今後のあり方を検討する必要があります。</p>

※○：ギャップ解消の可能性が高い、△：検証が必要、×：対象外

経営の健全化に向けた取り組みとして、これまでコスト削減に取り組んできました。さらに今後は、ダウンサイジングをはじめとした施設規模の適正化、周辺市町村との広域化・広域連携などにも取り組んでいく予定です。

しかし、これらの取り組みだけで収益性を大きく改善することは困難です。必要な費用を料金収入で賄えていないこと、最後に料金を改定してから10年以上が経過して水道事業を取り巻く環境が大きく変化していることなどから、料金改定を実施する必要があります。



事業スケジュール

基本 施策	主要な施策項目	年度											
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029 以降	
安全	(A) 水安全計画の策定												
	(B) 水質管理の徹底												
	(C) 小規模貯水槽水道の管理強化												
強靱	(D) 計画的な老朽化解消と耐震化推進												
	(E) 施設規模の適正化												
	(F) 停電を想定したエネルギー確保対策												
	(G) 非常時の資機材の確保												
持続	(H) 経営基盤の強化												
	(I) 工事財源の確保												
	(J) 外部委託の活用												
	(K) 料金制度の適正化												
	(L) 人材育成と組織力強化												
	(M) 環境負荷の低減												
	(N) 防災訓練の実施												
	(O) 環境学習、社会学習の場の提供												
	(P) 広域化・広域連携の検討												

フォローアップ

本ビジョンは、水道事業の将来像と目標を実現するための指針です。中長期的な視点のもと、全体を俯瞰したうえで定めた基本施策を着実に推進することによって、基本理念が実現できるものと考えています。

しかし10年間という計画期間において、自然環境や人口動態の変化、水道法をはじめとした法令等の改正、技術革新など想定していなかった事象が起きる可能性があります。そのため、計画期間中は定期的には本ビジョンを見直す仕組みが不可欠です。

安全な水を安定して供給し続けていくため、下図のようなPDCAサイクルの考え方を取り入れ、概ね3~5年単位で本ビジョンの進捗状況の管理と計画の見直しを実施する予定です。

